

1. 科目名 (単位数)	家族福祉特論 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP6317
2. 授業担当教員	上田 征三		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	家族の構造、形態、機能についての諸理論を講述するとともに、家族責任としての養育、扶養の課題や今後の方向、並びに社会的責任、公的責任としての新しい家族福祉の課題やあり方について講述する。また、子どもが育つ環境として家族は重要であることから、家族員と子どものかかわりについても探求する。		
8. 学習目標	1. 院生が家族に関わり、家族モデルをそれぞれの目標あるいは要求に応じて適用することができるようになる。 2. 子どもの専門家として、家族の重要性を認識し、家族員の力動性について理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	① 家族とは何かについて説明しなさい。 ② なぜ家族福祉が必要とされるのかについて述べなさい。 ③ 家族福祉の対象となる問題を一つ選んで説明しなさい。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 畠中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。 【参考文献】 日本家政学会編『現代家族を読み解く 12 章』丸善出版、2018。 平木典子・柏木恵子『家族を生きる―違いを乗り越えるコミュニケーション―』東京大学出版会、2012。 得津慎子『家族支援論』相川書房、2005。 鶴野隆浩『家族福祉原論』ふくろう出版、2006。 野崎和義監修『社会福祉六法』ミネルヴァ書房、2018。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 家族問題の現代的特徴や、なぜ家族福祉が必要であるかについて理解しているか。 2. 家族福祉の定義、対象、関連する法律・政策について把握しているか。 3. 家族支援の資源として公的機関・民間機関などについて把握しているか。 4. 家族や家族問題を理解する概念について理解しているか。 ○評定の方法 授業における学習課題への取り組み 30% 課題レポート 70%		
12. 受講生へのメッセージ	○ 大学院学則を遵守すること。 ○ 常に専門家としての知識と力量を育成するために努力すること。 ○ 学際的感覚を涵養すること。		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	家族の変化		
【学習の目標】産業化による家族構造の変化と家族機能の変化について理解する。 構成の変化と構造の変化の内容について把握する。 【学習の内容】(1) 構成的変化：家庭の変化、結婚と離婚の変化、児童委託の変化、出産率の変化、生涯周期の増加(扶養の必要性)、女性と母親の社会参加の増加の影響 (2) 構造的変化：経済的地位と生活の質と人種との関係、貧困・健康保険との関係 (3) 家族の変化がサービス伝達システムに及ぼす影響 【キーワード】構成的変化、構造的変化 【学習の課題】家族の変化を理解する。 【参考文献】畠中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。 日本家政学会編『現代家族を読み解く 12 章』丸善出版、2018。 平木典子・柏木恵子『家族を生きる―違いを乗り越えるコミュニケーション―』東京大学出版会、2012。 鶴野隆浩『家族福祉原論』ふくろう出版、2006。			
2. テーマ	家族の変化と家族政策		
【学習の目標】産業化による家族の変化と家族政策の分野について理解する。 【学習の内容】家族福祉の歴史的概観、人生過程と家族、家族政策 【キーワード】産業化、家族の構造、家族の機能 【学習の課題】家族政策の関心事、家族法・所得移転政策・被扶養者に対する税金の免除・児童保護サービスなどについて理解する。 【参考文献】畠中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。 日本家政学会編『現代家族を読み解く 12 章』丸善出版、2018。 鶴野隆浩『家族福祉原論』ふくろう出版、2006。			

3 . テ ー マ	現代家族に対する理解
【学習の目標】	家族とは何かをシステム論的観点で理解する。
【学習の内容】	家族システム論、家族の定義、家族の機能と逆機能、家族の理念 家族とは、彼ら自らが家族であると定義して、互いが持続的に家族システムの核心的要素であると看做して義務感を感じあう二人以上の個人として構成される集団である。
【キーワード】	システム理論、機能と逆機能
【学習の課題】	家族の概念 システム論と家族の関係性
【参考文献】	日本家政学会編『現代家族を読み解く12章』丸善出版、2018。 平木典子・柏木恵子『家族を生きる一違いを乗り越えるコミュニケーション』東京大学出版会、2012。 鶴野隆浩『家族福祉原論』ふくろう出版、2006。 畠中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。
【学習する上での留意点】	伝統的家族の概念と現代的概念の違いについてその背景を説明できるようにする。
4 . テ ー マ	家族福祉の概念と家族に対する支援
【学習の目標】	家族福祉の概念が分かる。 家族福祉と家族支援の関係性が分かる。
【学習の内容】	家族福祉とは何か 家族福祉にとっての家族支援の意義 家族支援と家族政策
【キーワード】	家族福祉、家族支援、家族政策
【学習の課題】	家族福祉と家族支援の関係性について自分なりの理論化が構築できる。
【参考文献】	得津慎子『家族支援論』相川書房、2005。
5 . テ ー マ	家族支援の資源(1)私的援助
【学習の目標】	家族を支援するための資源としての家族・親族、近隣・友人の特徴について理解する。
【学習の内容】	家族支援の資源にはさまざまなものがあること 私的援助としての家族・親戚、近隣・友人
【キーワード】	私的援助
【学習の課題】	家族を支援するための身近な資源について、その特徴を理解する。
【参考文献】	畠中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。
6 . テ ー マ	家族支援の資源(2)公的機関
【学習の目標】	家族を支援するための資源としての公的機関（児童相談所、福祉事務所、保育所、保健所、児童養護施設、家庭裁判所、等）の特徴について理解する。
【学習の内容】	公的な相談機関として諸機関があること
【キーワード】	公的相談機関
【学習の課題】	家族を支援するため公的相談機関について、その特徴を理解する。
【参考文献】	畠中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。
7 . テ ー マ	家族支援の資源(3)民間機関
【学習の目標】	家族を支援するための資源としての民間機関（社会福祉協議会、ボランティア団体、NPO 団体、等）の特徴について理解する。
【学習の内容】	民間の相談機関として諸機関があること
【キーワード】	民間の相談機関
【学習の課題】	家族を支援するための民間の相談機関について、その特徴を理解する。
【参考文献】	畠中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。
8 . テ ー マ	家族支援の資源(4)施設
【学習の目標】	家族を支援するための資源としての施設（入所施設、通所施設）の特徴について理解する。
【学習の内容】	様々な施設
【キーワード】	入所施設、通所施設
【学習の課題】	家族を支援するための入所施設、通所施設について、その特徴を理解する。
【参考文献】	畠中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。
9 . テ ー マ	家族支援に関連する法律
【学習の目標】	家族支援に関連する法律（児童福祉法、身体障害者福祉法、生活保護法、知的障害者福祉法、老人福祉法、母子及び寡婦福祉法、国連子どもの権利に関する条約、育児・介護休業法、等）について理解する。
【学習の内容】	家族支援に関連する法律
【キーワード】	児童福祉法、身体障害者福祉法、生活保護法、知的障害者福祉法、老人福祉法、母子及び寡婦福祉法、国連子どもの権利に関する条約、育児・介護休業法、等
【学習の課題】	家族支援に関連する法律を理解する。
【参考文献】	畠中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。 野崎和義監修『社会福祉六法』ミネルヴァ書房、2018。

10.テーマ	家族支援の実際(1)子育て支援
【学習の目標】	子育て支援にみる家族の現状について理解する。
【学習の内容】	子育て支援と家族の実際について、事例を通して考える。
【キーワード】	子育て支援、養育困難、児童虐待
【学習の課題】	子育て家族の問題について、支援の方法を考察する。
【参考文献】	得津慎子『家族支援論』相川書房、2005。 島中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。
11.テーマ	家族支援の実際(2)高齢者
【学習の目標】	高齢者の生活にみる家族の現状について理解する。
【学習の内容】	高齢者と家族の現状について、事例を通して考える。
【キーワード】	高齢者、介護
【学習の課題】	高齢者を取り巻く様々な問題について、支援の方法を考察する。
【参考文献】	島中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006
12.テーマ	家族支援の実際(3)障がい者
【学習の目標】	障がい者の生活にみる家族の現状について理解する。
【学習の内容】	障がい者と家族の現状について、事例を通して考える。
【キーワード】	障がい者
【学習の課題】	障がい者を取り巻く様々な問題について、支援の方法を考察する。
【参考文献】	島中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。
13.テーマ	家族を理解する概念
【学習の目標】	家族を理解する概念として、ライフサイクル、ライフコース、ソーシャルサポートネットワーク、そして、家族システム論、家族境界、エンパワメント、等について理解する。
【学習の内容】	家族を理解するための様々な概念について学ぶ。
【キーワード】	ライフサイクル、ライフコース、ソーシャルサポートネットワーク、家族システム論、家族境界、エンパワメント、等
【学習の課題】	様々な概念について学ぶことにより家族問題の理解を深める。
【参考文献】	島中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。
14.テーマ	家族福祉の課題と展望
【学習の目標】	家族を支えるネットワークの構築について考える。
【学習の内容】	ウェルビーイングについて考え、家族を支える新たなネットワークについて検討する。
【キーワード】	家族、ウェルビーイング、ネットワーク
【学習の課題】	家族を取り巻く様々な課題について考える。
【参考文献】	島中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。
15.テーマ	最後のまとめ
【学習の目標】	今まで学習した内容をまとめる。
【学習の内容】	家族、家族福祉、多様な問題を抱えている家族と家族支援
【学習の課題】	この科目で学んだことの振り返り
【参考文献】	島中宗一編『よくわかる家族福祉』ミネルヴァ書房、2006。 日本家政学会編『現代家族を読み解く12章』丸善出版、2018。 平木典子・柏木恵子『家族を生きる一違いを乗り越えるコミュニケーション』東京大学出版会、2012。 鶴野隆浩『家族福祉原論』ふくろう出版、2006。 得津慎子『家族支援論』相川書房、2005。 野崎和義監修『社会福祉六法』ミネルヴァ書房、2018。